

令和2年度 2学期終業式 式辞

R2.12.24

令和2年度の2学期が、今、終わりを迎えようとしています。

4か月129日間、夏休みが短かったこともあり、おそらく岩中史上最も長い2学期でしたが、コロナ感染を防ぐため、マスクの着用、手指の消毒、3密の回避等に心がけながらも、共に実り多い時間を過ごしてきました。

改めて2学期を振り返ってみると、たくさんの方が思い出されます。その中で、特に印象深く記憶に残っている場面を、三つお話しします。

一つ目は「体育大会」です。本番も素晴らしかったのですが、最もはつきりと心に残っているのは、体育大会終了後、後片付けも終わった2学年の終礼に偶然立ち会った時のことです。学年の先生が、2年生全員に「体育大会楽しかった人？」と聞くと、ほぼ全員が手を挙げました。続けて「初めてのエール交換だったけど、3年生、かっこよかったなと思う人？」また、ほぼ全員が挙手。最後に「来年、今年の3年生みたいにかっこよくがんばりたいと思う人！」の問いに、2年生ほぼ全員が勢いよく手を挙げたのです。

例年どおりのことができず、制約の多い中での体育大会。それでもくさらず地道に準備・練習を進め、背中で下級生をリードしてくれた3年生。結果として、体育大会を大成功に導いてくれた最上級生のあのがんばりを、下級生もちゃんと見てくれていたのだということ。そして、そんな3年生を「かっこいい」と感じ、尊敬の気持ちを素直に表してくれていること。その姿を見て、とてもうれしく温かい気持ちになりました。

二つ目は、合唱コンクールです。それも、合唱コンクールの練習を開始する前の「第1回合唱実行委員会」。各クラス十数名、全校で百名を超える実行委員がオープン会議室に一堂に会し、実行委員長や担当の先生の話聞いていました。そのときの各クラスのリーダー達の眼差しの真剣さ、「よし、がんばってやる！」というやる気に満ちた横顔が、今も目に焼き付いています。おそらく体育大会の成功が、全校生徒の心に火を付けたのでしょう。リーダー達の燃える瞳は「今度は合唱を通して、良いクラス・良い学年を作っていくのだ」という強い決意を表しているようでした。そのとき私は、今年の合唱コンクールが例年以上に素晴らしいものになることを確信しました。事実、練習段階から合唱コンクール

は大きな盛り上がりを見せ、本番では、曲の始まりとともに涙がこみ上げるほどの感動的な演奏が、いくつも聞かれました。これもまた、忘れ得ぬ思い出です。

3つ目は、「後期生徒総会」です。さらなる「生徒自治」の前進を目指して、執行部からも各専門委員会からも、これまでにない独創的な活動が続々と提案され、それに対する質問・意見がたくさん出て、生徒総会は大盛り上がりでした。

その日を境に「自分たちの手で岩中をもっとよい学校にしていこう」とする全校の動きが目に見えるようになったと感じています。みなさんのアンケートにも、「岩中のよいところ」として、次のようなことが書かれていました。

- ・クラスの問題を、しっかりと自分たちでどうにかしようとしている
- ・一人一人の心に「学校のために」という思いがあり、新しい「生徒自治」に取り組んでいる
- ・どんどん新しいやり方を取り入れて、どんどん学校がよくなっている
また、次のような記述もありました。
- ・KIND MESSAGEを進んで書くなど、他の人のよいところ をたくさん見付けて伝えている
- ・みんなの仲を深めようと、生徒会を中心にいろいろな活動をしていて、学校全体の仲がよく温かい。学校が明るい。

1学年185、2学年241、3学年233。何の数かわかりますか。廊下に掲示されたKIND MESSAGEの数です。仲間への感謝の言葉が日に日に増えて、全校で658通になりました。1年生のkindness treeを含めると、優に700通を超える勢いです。伝えた人も伝えられた人も幸せになる感謝の言葉。その一枚一枚が、みなさんの心の成長を表しているようです。

これからも、仲間への「リスペクト（敬意）」と「ケア（いたわり）」の姿勢を大切に、全校生徒・教職員が、一步一步着実に成長できる「理想の学校」を目指して、みんなでがんばっていきましょう。

コロナ下にあっても、みなさんと豊かで味わい深い時間を過ごし、共に成長できたことに心から感謝して、令和2年度2学期を締めくくりたいと思います。

ありがとうございました。